

## 平和のために出来ること

岡本 康汰

ぼくは今回の広島市平和記念式典派遣事業で原爆の恐ろしさが分かり、広島の人たちの平和への思いの強さを感じました。

広島平和記念資料館には、被爆者の遺品や当時の様子を伝える写真、絵などが展示されていました。原爆が落とされた後の広島は真っ黒で何も無く、落とされる前とは全く違う街のようでした。一瞬にして多くの命をうば

い、そして周りの様子も変えてしまったそんな物が世の中にあるなんて信じられないと思いました。展示品の中で一番印象に残った物は原爆が落とされた八時十五分で止まつた時計と原爆が落とされてすぐにとられた写真です。時計を見て、自分がその時そこにはいたらとさえたらとても二わくなりました。写真はまるで地ごくのようで、見ているのがと中から辛くなりました。

平和記念式典では特にこども代表の平和へ

のちかいが心にひびきました。一つ一つの言葉から平和への思いが伝わってきました。ぼくはこのちかいの中の「悲惨な過去」を悲惨な過去のままで終わらせないために、や自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできる「とあるかもしだい」と和のためにできることがあるかもしだいと思いました。そして同じ六年生がこんなに戦争としつかり向き合つて、平和を強く願つていることにとても感動しました。

ぼくがこの広島派遣事業に応募した理由は戦争のことを感じられたからです。結果、広島に行つたことで、実際に広島に行き自分の目で見て感じたいと思つたからです。結果、广島に行つたことを大きな事をしなければならないと思つていたけど、こども代表の言葉から一人一人が平和を思うこと自分で自分の周りの小さな平和から大きな平和にすることができるということが分かりました。平和記

念公園にある原爆の子の像は子どもたちが募  
金活動をしてできたものだと知り、おどろき  
ました。子どもだからってできないではな  
く、子どもにもできることがあるのだと思感じ  
ました。そして平和とは一人一人が平和にな  
ることを願い、みんなが今を平和だと思える  
ことだと思います。ぼくはこれからも広島で  
起きたこと、広島で見たものを絶対に忘れず、  
未来へ伝えていきたいです。

今回このような貴重な体験をさせていただ  
きありがとうございました。